

令和7年度「西岡水源地自然観察会」(主催)の記録

北海道ボランティア・レンジャー協議会

観 察 会	西岡水源地自然観察会 公園管理事務所～取水塔～すみれコース～自由広場～木道～まがもコース、時計回り/周回			
開催日時	2025(令和7)年7月5日(日) 10:00-12:00			
天 候	快晴(微風) 開始時の気温28.0℃ 正午の気温30.8℃ (アメダス札幌)			
参加状況	一般参加者:9人、ボラレン:11人 2班編制 ☆前日の下見会(雨模様)8人			
観察記録 主なもの	草 本	アワダチソウ、イケマ、イチヤクソウ、ウツボグサ、エゾイラクサ、オオウバユリ(蕾にネット掛け)、オオチドメ、オカトラノオ、オニシモツケ、オノノヤガラ、クサフジ、コイチヤクソウ、クサレダマ、コテングクワガタ、キツネノボタン、キヨスミウツボ、コウライテンナンショウ、シヤクジョウソウ、タニギキョウ、ツルニンジン、ツルリンドウ、トチバナニンジン(周囲をネット柵で保護)、トリアシショウマ、ドクゼリ、ナンバンハコベ、ハンゴンソウ、ヒトツバイチヤクソウ、フデリンドウ、ホソバノヨツバムグラ、ミゾソバ、ミツバベンケイソウ、ミヤコザサ、		
	木 本	アクシバ、イワガラミ、ウメガサソウ、クマイチゴ、ケヤマハンノキ、コブニレ、ツタウルシ、ナニワズ、ノリウツギ、ホオノキ、ミヤマウグイスカグラ、ヤチダモ(木道に未成熟の果実多数)、ヤマグワ、		
	シダ他	ゼンマイ、ヒメシダ、ワラビ、	キノコ類	ウスタケ、
	野 鳥	アオジ、ウグイス、カワセミ、カワラヒワ、コゲラ、シジュウカラ、ツツドリ、ハリオアマツバメ、マガモ、 ※上空を猛禽が飛翔・ハイタカか?		
	その他 昆虫等	エゾマイマイ、オカモノアラガイ、キマワリ、クロヒカゲ、サッポロマイマイ、モノサシトンボ、 ※終了後、ヘビトンボ(死骸)を観察 *ミズナラの樹皮にエゾハルゼミ(抜け殻及び産卵後の個体を多数観察) *下見会:雨上がりの森で、ミドリシジミ類(ゼフィルス)が舞っていた。		
感想など	<ul style="list-style-type: none"> ・前日の雨模様から一転、夏空のもと強い陽射しがー。特に木道ではジリジリと暑かった。 ・総勢20人、こまめな給水と休憩をはさみ、時間内に無事観察会を終えることができた。 ・ハリオアマツバメの観察に備え、管理事務所内の展示で予備知識を得ていただいた。～期待どおりの出現、滑空?滑水行動が繰り広げられ、ハリオアマツバメに大感謝! ・エゾシカの食害対策～ネット・袋かけ～や、オオハンゴンソウ防除活動など、日頃からボランティア活動をされている関係者の取組の一端を垣間見ることができた。 ・フィールドスコープ持参の参加者により、カワセミ、キビタキなどをじっくり観察。 ・観察グッズ・凹面鏡で、イチヤクソウなど下向きの花や果実の様子をよく観察できた。 ・27年振りに訪れたが、木道などの整備がすすみビックリ。 ・連理木(2本の木が途中で癒着融合した”仲良しの木”:ミズナラ)が懐かしい。 ・案内人が余り多くを語らず、参加者から会話を引き出す巧みなガイド力も勉強に。 			



開会式 強い陽射しを避け、お客様は建物の日陰で・・



散策路から西岡水源地を望む



フリップを使った解説



凹ミラーの活用



陽射しが強かった木道



日本三大鳴鳥のウグイス

(記録:吉田京子、渡辺健策、蔵谷徳洋、事務局)

☆ 2025「西岡水源地自然観察会」の記録・続編 (一部、下見会での撮影写真等を含む。)



ミヤマウグイスカグラ



参加者を魅了した、ハリオアマツバメの飛翔



保護柵の中、トチバニンジン



ヘビトンボの亡骸



モノサシトンボ?



キマワリ



ジンヨウイチヤクソウ



イチヤクソウ



コイチヤクソウ



ヒトツバイチヤクソウ



ウメガサソウ



イワガラミ



ウスタケ



オニノヤガラ



オカトラノオ



ミツバゲンケイソウ



クサフジ



ミドリシジミ類



エゾマイマイ



猛禽：ハイトカか？